



1. 製品及び会社情報

1.1. 製品識別子

製品識別子 MVK-7000 (Vinyl Phenolic Resin)
別名 MVK-7000 (Vinyl Phenolic Resin)

1.2. 物質/混合物の使用用途/禁止使用用途

意図された製品の使用 溶剤ベースの接着剤。

1.3. 安全データシートの提供元詳細

製造元 Renegade Materials Corporation
3363 So Tech Blvd
Springboro, OH 45342

緊急時の電話番号

電話番号 (937) 901-1202 (24 hour)
CHEMTREC +1 (800) 424-9300 (U.S. and Canada)
+33 975181407 (France)
+49 69643508409 (Germany)
+81 345209637 (Japan)
+34 931768545 (Spain)
+44 870-8200418 (United Kingdom)

電話番号: Renegade Materials Corporation (937) 350-5274

2. 危険有害性の要約

2.1. 物質/混合物の分類

Flam. Liq. 2;H225	可燃性の高い液体および蒸気
Acute Tox. 4;H302	飲み込むと有害
Skin Irrit. 2;H315	皮膚刺激
Eye Dam. 2A;H319	強い目刺激
Muta. 2;H341	遺伝性疾患の恐れあり
Carc. 1B;H350	発ガンの恐れ
STOT SE 3;H335	呼吸刺激の恐れ 具体的標的器官 (利用不可)
STOT RE 2;H373	長期/反復暴露により、臓器障害を生じる恐れあり 具体的標的器官 (利用不可)

2.2. ラベルエレメント



危険

- H225 可燃性の高い液体および蒸気
- H302 飲み込むと有害
- H315 皮膚刺激
- H319 強い目刺激
- H335 呼吸刺激の恐れ
- H341 遺伝性疾患の恐れあり
- H350 発ガンの恐れ
- H373 長期/反復暴露により、臓器障害の恐れあり

[防止]:

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 安全上の予防措置をよく読んで理解してから、物質を取り扱うこと。
- P210 熱/火花/裸火/高温面などの着火源から遠ざけること—禁煙
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器および装置を接地すること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器, 機器を使用すること。
- P242 火花を発生しない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。
- P262 眼への混入、皮膚接触、衣類接触を避けること。
- P264 取扱後はをよく洗うこと。
- P270 製品使用時に、飲食または喫煙をしないこと。
- P271 屋外または通気の良い場所でのみ使用すること。
- P280 保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。

[対応]:

- P301+312 飲み込んだ場合：気分が悪くなった場合は医師に連絡すること。
- P302+352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗浄すること。
- P303+361+353 皮膚（または髪）に付着した場合：汚染した作業衣をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗浄すること。
- P304+312 吸入した場合：気分が悪くなった場合は医師に連絡すること。
- P305+351+338 眼に入った場合：水で数分間洗浄すること。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。

- P308+313 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P314 気分が悪くなった場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 P321 特別治療が必要である（ラベルの情報を参照）。
 P330 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
 P331 無理に吐かせないこと。
 P332+313 皮膚炎症が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P337+313 眼の炎症が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P362 汚染した作業衣を脱ぎ、再使用する場合には洗浄すること。
 P370+378 火災の場合：...を使用して消火すること。

[保管]:

- P403+233 通気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。

[廃棄]:

- P501 地域/国の規則に従って内容物/容器を廃棄すること。

3.組成、成分情報

この製品は次の有害物質を含有する。

成分/薬品表示	重量%	GHS 分類	注意
1,2-Dichloroethane CAS 番号: 0000107-06-2	25 - 50	Flam. Liq. 2;H225 Carc. 1B;H350 Acute Tox. 4;H302 Eye Irrit. 2;H319 STOT SE 3;H335 Skin Irrit. 2;H315	[1][2]
Ethanol CAS 番号: 0000064-17-5	10 - 25	Flam. Liq. 2;H225	[1][2]
Butanone CAS 番号: 0000078-93-3	10 - 25	Flam. Liq. 2;H225 Eye Irrit. 2;H319 STOT SE 3;H336	[1][2]
Vinyl acetal polymers, formals CAS 番号: 0063148-64-1	10 - 25		[1]
Phenol CAS 番号: 0000108-95-2	1.0 - 10	Muta. 2;H341 Acute Tox. 3;H331 Acute Tox. 3;H311 Acute Tox. 3;H301 STOT RE 2;H373 Skin Corr. 1B;H314	[1][2]

- [1] 健康および環境への有害危険物質
 [2] 作業環境での暴露限度が指定された物質
 [3] PBT 物質 または vPvB 物質

*全文は第16章を参照してください。

4. 応急措置

4.1. 救急処置の説明

一般的な措置	疑わしい場合、もしくは症状が持続するときは医師の診断を受けること。 意識のない者には口から何も与えないこと。
吸入した場合	患者を空気の新鮮な場所に移し、暖かくして休息させること。呼吸が不規則であったり停止した場合は、人工呼吸を行うこと。意識がないときは呼吸しやすい姿勢にして、医師を呼ぶこと。口から何も与えないこと。
眼に入った場合	まぶたを大きく広げて、大量の清浄な水で最低10分間洗い医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱ぐこと。水と石鹼もしくは承認された洗剤で皮膚を十分に洗うこと。溶剤やシンナーを使用しないこと。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けること。安静にし、無理に吐かせないこと。

4.2. 重要な急性/遅発性症状および影響

概要	生殖遺伝的欠陥または危険。対症療法 記載された職業暴露限界値を超えた管理濃度の成分溶剤からの溶剤蒸気ガスに暴露すると、粘膜や呼吸系の炎症や腎臓、肝臓、中枢神経系への悪影響など健康への悪影響を及ぼすことがある。症状としては、頭痛、吐き気、めまい、疲れ、脱力感、眠気そして極端な場合には意識を失うこともある。 製品に反復的にまたは長期的に接触すると、皮膚から自然脂肪が奪われ、乾燥肌、炎症、または非アレルギー性接触皮膚炎を引き起こすことがある。溶剤は皮膚から吸収されることもある。飛び散った液体が眼に入ると、炎症や痛みを引き起こし、可逆性の損傷を残すこともある。詳細はセクション2参照
吸入した場合	呼吸刺激の恐れ
眼に入った場合	強い目刺激
皮膚に付着した場合	皮膚刺激
飲み込んだ場合	飲み込むと有害
慢性効果	

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

小規模の火災には、ドライケミカル、二酸化炭素、水スプレー、または耐アルコール性フォームを使用してください。大規模な火災の場合は、水噴霧、霧、またはアルコール耐性の泡を使用してください。固体の水流を使用しないでください。効果がなく、物質が広がる可能性があります。

5.2. 物質/混合物固有の危険

危険な分解：危険な燃焼生成物には、塩化水素、ホスゲン、一酸化炭素、二酸化炭素、過酸化物、アルデヒド（ホルムアルデヒドを含む）、フェノール、芳香族化合物（ベンゾ[a]ピレンを含む）が含まれます。

処理中、フェノール、ホルムアルデヒドの蒸気、アルコール、グリコール、またはその他の溶媒が放出される場合があります。

熱/火花/裸火/高温面などの着火源から遠ざけること—禁煙

容器を密閉しておくこと。

容器および装置を接地すること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器, 機器を使用すること。

火花を発生しない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。

眼への混入、皮膚接触、衣類接触を避けること。

5.3. 消防士へのアドバイス

すべての火災と同様に、完全な覆面部と防護服で、肯定的な圧力、自己完結型の呼吸装置、(SCBA) を着用してください。呼吸保護のない人は区域を去るべきである。火災直後の清掃時に SCBA を着用してください。禁煙です。

圧力が必要な完全保護装備の自給式呼吸器を着用してください。火にさらされた容器を冷却するために水スプレーを使用してください。危険な蒸気や分解生成物を避けるために、風上から火に近づいてください。蒸気は空気よりも重く、地面に沿って広がり、低い場所や狭い場所に集まることがあります。蒸気は発火源に移動して逆火することがあります。材料は静電荷を蓄積し、それ自体の蒸気を発火させることがあります。再点火が可能のため、水スプレーを使用して蒸気を分散させます。

ERG ガイド 131

6. 漏出時の措置

6.1. 個人の予防措置、保護具、緊急時の対応手順

適切な個人保護機器を着用する(セクション8参照)

6.2. 環境に対する予防措置

流出が排水溝や水路に入らないようにしてください。

個人の良好な衛生習慣を使用します。、飲酒、喫煙やトイレを使用して食事前に手を洗う。速やかに汚れた衣類を取り除きます。衣類は、再着用の前に洗濯します。

6.3. 汚染物の処理方法・処理材および洗浄

こぼれた液体を吸着パッド、ソックス、またはバーミキュライト、砂、土などの不活性材料で吸収します。風上から流出物に近づき、吸収された物質を拾い、適切な容器に入れます。多量の水で洗い流してください。

7. 取り扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いに関する予防措置

破損や漏れを防止するために容器を注意深く扱うこと。

セクション8に詳述されている適切な個人用保護具を使用してください。取り扱い後、飲食、喫煙前に手と顔を十分に洗ってください。目、皮膚、衣服との接触を避けてください。飲食エリアや喫煙エリアに入る前に、汚染された衣

服を脱ぐ。汚染された衣類は再使用する前に洗ってください。蒸気の摂取と吸入を避けてください。容器をしっかりと閉じてください。材料を移している間、容器を粉砕して接着します。火花防止ツールと防爆装置を使用してください。熱、火花、炎から遠ざけてください。十分に換気して使用してください。蒸気は、低い場所や狭い場所に沈むことがあります。空の容器には製品の残留物が含まれており、有害な蒸気を放出する可能性があります。空の容器を加圧、切断、溶接、ろう付け、はんだ付け、ドリル、または粉砕したり、空の容器を火花や炎にさらしたりしないでください。

詳細はセクション2参照 - [防止]:

7.2. 安全な保管条件、配合禁忌

酸化性物質や発火源から遠ざけてください。容器をしっかりと閉じてください。可能であれば、窒素ブランケットの下に保管してください。製品の完全性を維持するために、可能であれば製品を0°F以下で保管してください。凍結できない場合は、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管してください。セクション10で説明されているように、不適合な材料から離して保管してください。

禁忌配合物質: アルミニウム、塩基、アルカリ金属、有機過酸化物、強酸、強酸化剤、強還元剤、液体アンモニア、アミン、2-プロパノール。

詳細はセクション2参照 - [保管]:

7.3. 特別な最終用途

データなし。

セクション8. 暴露防止/個人保護

8.1. コントロールパラメーター

暴露

CAS No.	成分	源泉	値
0000064-17-5	エタノール	OSHA	TWA 1000 ppm (1900 mg/m ³)
		ACGIH	---
		NIOSH	TWA 1000 ppm (1900 mg/m ³)
0000078-93-3	メチルエチルケトン	OSHA	TWA 200 ppm (590 mg/m ³)
		ACGIH	TWA: 50 ppm STEL: 100 ppm
		NIOSH	TWA 200 ppm (590 mg/m ³) ST 300 ppm (885 mg/m ³)
0000107-06-2	1,2-Dichloroethane	OSHA	TWA 50 ppm C 100 ppm 200 ppm [5-minute maximum peak in any 3 hours]
		ACGIH	TWA: 1 ppm STEL: 2 ppm
		NIOSH	Ca TWA 1 ppm (4 mg/m ³) ST 2 ppm (8 mg/m ³)
0000108-95-2	フェノール	OSHA	TWA 5 ppm (19 mg/m ³) [skin]
		ACGIH	TWA: 5 ppm
		NIOSH	TWA 5 ppm (19 mg/m ³) C 15.6 ppm (60 mg/m ³) [15-minute] [skin]
0063148-64-1	Vinyl acetal polymers, formals	OSHA	---
		ACGIH	---
		NIOSH	---

迷惑粉塵のための曝露限界は、次のとおりです。 OSHA PEL: 15 mg/m³ TWA, ACGIH 10 mg/m³.

8.2. 暴露コントロール

呼吸器保護	濃度が上記の暴露限界を超えたときは、作業員は国際基準で承認された適切な呼吸用保護具を着用しなければならない。可能ならば、排気設備なども備えること。
眼に入った場合	眼を保護するために側面が遮蔽された安全メガネを着用すること。作業場に眼の洗浄設備の設置が望ましい。
皮膚に付着した場合	皮膚接触を最低限に留めるため、PVCまたはゴム製手袋を着用してください。適切な手袋については、メーカーの説明に従ってください。
工学的制御	適当な通風設備を備えること。実用的には局部排気設備と良好な一般排気設備で目的が達成される。これらの設備で粒子や蒸気の濃度を職業暴露限界以下に維持できなければ、適切な呼吸器保護具を着用しなければならない。
その他	個人の良好な衛生習慣を使用します。、飲酒、喫煙やトイレを使用して食事前に手を洗う。速やかに汚れた衣類を取り除きます。衣類は、再着用の前に洗濯します。

詳細はセクション2参照

9. 物理的及び化学的性質

色	透明な黄-色の溶液
臭気	クロロホルム様またはフェノール様臭
臭気限界	値が決定されません
pH	測定されていない
融解点/凝固点(°C)	-35°C (pure 1,2-dichloroethane)
初留点および沸点範囲(°C)	81 - 85°C (pure 1,2-dichloroethane)
引火点	13.3°C (pure 1,2-dichloroethane)
蒸発率 (エーテル = 1)	6.5 (pure 1,2-dichloroethane)
可燃性 (固体、ガス)	該当せず
可燃性上限/下限、爆発限界	爆発下限: 6.2 % (pure 1,2-dichloroethane) 爆発上限: 15.9% (pure 1,2-dichloroethane)
蒸気圧(Pa)	100 mm Hg @ 20°C (pure 1,2-dichloroethane)
蒸気密度	3.4 (pure 1,2-dichloroethane)
比重	測定されていない
水溶性	測定されていません
分配係数 n-オクタノール/水 (Log Kow)	測定されていません
自然発火点	測定されていない
分解温度	測定されていない
粘度(cSt)	測定されていない
相対密度	0.95 - 1.05

9.2. その他の情報

他の関連する情報はありません。

10. 安定性及び反応性

10.1. 反応性

危険な重合は発生しません

10.2. 化学安定性

通常の状態安定

10.3. 危険反応のリスク

データなし。

10.4. 禁止条件

光、点火源、電気火花、余分な熱。

10.5. 禁忌配合物質

アルミニウム、塩基、アルカリ金属、有機過酸化物、強酸、強酸化剤、強還元剤、液体アンモニア、アミン、2-プロパノール。

10.6. 危険な分解生成物

危険な燃焼生成物には、塩化水素、ホスゲン、一酸化炭素、二酸化炭素、過酸化物、アルデヒド（ホルムアルデヒドを含む）、フェノール、芳香族化合物（ベンゾ[a]ピレンを含む）が含まれます。

処理中、フェノール、ホルムアルデヒドの蒸気、アルコール、グリコール、またはその他の溶媒が放出される場合があります。

11. 有害性情報

急性毒性

記載された職業暴露限界値を超えた管理濃度の成分溶剤からの溶剤蒸気ガスに暴露すると、粘膜や呼吸系の炎症や腎臓、肝臓、中枢神経系への悪影響など健康への悪影響を及ぼすことがある。症状としては、頭痛、吐き気、めまい、疲れ、脱力感、眠気そして極端な場合には意識を失うこともある。

製品に反復的にまたは長期的に接触すると、皮膚から自然脂肪が奪われ、乾燥肌、炎症、または非アレルギー性接触皮膚炎を引き起こすことがある。溶剤は皮膚から吸収されることもある。飛び散った液体が眼に入ると、炎症や痛みを引き起こし、可逆性の損傷を残すこともある。

注:急性毒素に経路特定LD50データが利用できない時は産物のATE(急性毒性推定値)の計算に変換急性毒性ポイント推定値を使った。

成分	LD50 経口, mg/kg	LD50 経皮, mg/kg	LC50 吸入(蒸気), mg/L/4hr	吸引 粉じん/ミスト LC50, mg/L/4hr	吸入 ガスLC50, PPM, ppm
1,2-Dichloroethane - (107-06-2)	---	---	---	---	---
エタノール - (64-17-5)	10,470.00, ラット - 区分: 該当せず	17,100.00, ウサギ - 区分: 該当せず	124.70, ラット - 区分: 該当せず	---	---

メチルエチルケトン - (78-93-3)	---	6,480.00, ウサギ - 区分: 該当せず	32.00, Mouse - 区分: 該当せず	---	---
Vinyl acetal polymers, formals - (63148-64-1)	---	---	---	---	---
フェノール - (108-95-2)	530.00, ラット - 区分: 4	630.00, ラット - 区分: 3	---	---	---

発がん性物質データ

CAS No.	成分	源泉	値
0000064-17-5	エタノール	OSHA	規制された発癌物質: いいえ
		NTP	既知: いいえ; 疑わしい: いいえ
		IARC	グループ1: はい; グループ2a: いいえ; グループ2b: いいえ; グループ3: いいえ; グループ4: いいえ;
		ACGIH	A3
0000078-93-3	メチルエチルケトン	OSHA	規制された発癌物質: いいえ
		NTP	既知: いいえ; 疑わしい: いいえ
		IARC	グループ1: いいえ; グループ2a: いいえ; グループ2b: いいえ; グループ3: いいえ; グループ4: いいえ;
		ACGIH	---
0000107-06-2	1,2-Dichloroethane	OSHA	規制された発癌物質: いいえ
		NTP	既知: いいえ; 疑わしい: はい
		IARC	グループ1: いいえ; グループ2a: いいえ; グループ2b: はい; グループ3: いいえ; グループ4: いいえ;
		ACGIH	A4
0000108-95-2	フェノール	OSHA	規制された発癌物質: いいえ
		NTP	既知: いいえ; 疑わしい: いいえ
		IARC	グループ1: いいえ; グループ2a: いいえ; グループ2b: いいえ; グループ3: はい; グループ4: いいえ;
		ACGIH	A4
0063148-64-1	Vinyl acetal polymers, formals	OSHA	規制された発癌物質: いいえ
		NTP	既知: いいえ; 疑わしい: いいえ
		IARC	グループ1: いいえ; グループ2a: いいえ; グループ2b: いいえ; グループ3: いいえ; グループ4: いいえ;
		ACGIH	---

項目	区分	危険有害性
急性毒性(経口)	4	飲み込むと有害
急性毒性(経皮)	---	適用できません
急性毒性(吸入)	---	適用できません
皮膚腐食性/刺激性	2	皮膚刺激
眼損傷性/眼刺激性	2A	強い目刺激
呼吸器感作性	---	適用できません
皮膚感作性	---	適用できません

生殖細胞変異原生	2	遺伝性疾患の恐れに近い
発がん性	1B	発ガンの恐れ
生殖毒性	---	適用できません
特定標的臓器 全身毒性 (単回暴露)	3	呼吸刺激の恐れ
特定標的臓器 全身毒性 (反復暴露)	2	長期/反復暴露により、臓器障害を生じる恐れあり
吸引性呼吸器有害性	---	適用できません

12. 環境影響情報

12.1. 毒性

この製品については追加情報はない。化学詳細データについてはセクション3参照。

水生生態毒性

成分	96時間LC50魚、mg/Lの、mg/l	48時間EC50の甲殻類、mg/Lの、mg/l	ErC50藻類、mg/Lの、mg/l
1,2-Dichloroethane - (107-06-2)	利用不可	利用不可	利用不可
エタノール - (64-17-5)	15,400.00, <i>Lepomis macrochirus</i>	> 10,000, <i>Daphnia magna</i>	17.921 (96 hr), <i>Ulva pertusa</i>
メチルエチルケトン - (78-93-3)	2,993.00, <i>Pimephales promelas</i>	308.00, <i>Daphnia magna</i>	2,029.00 (96 hr), <i>Pseudokirchnerella subcapitata</i>
Vinyl acetal polymers, formals - (63148-64-1)	利用不可	利用不可	利用不可
フェノール - (108-95-2)	3.73, <i>Oncorhynchus gorbuscha</i>	3.29, <i>Ceriodaphnia dubia</i>	46.42 (96 hr), <i>Pseudokirchnerella subcapitata</i>

12.2. 持続性および分解性

製品固有のデータは利用できません

12.3. 生体内蓄積リスク

測定されていません

12.4. 土壌の移動性

データなし。

12.5. PBT および vPvB 評価結果

この製品は、PBT/ vPvB物質の化学物質が含まれていません。

12.6. 他の有害効果

データなし。

13. 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理法

排水溝や水路に流さないこと。廃棄物や空容器は当地の規制に従って処理すること。

このデータシートの情報を用いて、当地の廃棄物規制当局から特別な廃棄物規制が適用されるかどうかアドバイスを受けること。

14. 輸送上の注意

	米国運輸省（国内陸上輸送）	IMO/IMDG（海上輸送）	ICAO/IATA
14.1. UN 番号	UN1184	UN1184	UN1184
14.2. UN 品名	UN1184, Ethylene dichloride, 3, II	Ethylene dichloride	Ethylene dichloride
14.3. 搬送危険物クラス 有害性クラス: 3		等級/区分: 3 サブクラス: 該当せず	等級/区分: 3
14.4. 包装等級	II	II	II
14.5. 環境への危険有害性			
IMDG	海洋汚染物質: 単一物質;		
14.6. ユーザーの特別予防措置	該当せず		

15. 適用法令

本製品は日本の規制に従うものである。

消防法:

第4類第1石油類、危険等級 II

毒物および劇物取締法:

労働安全衛生法（MSDS対象物質）:

1,2-Dichloroethane

Butanone

Ethanol

Phenol

労働安全衛生法 (57条表示物質):

1,2-Dichloroethane
Butanone
Ethanol
Phenol

労働安全衛生法：特定化学物質等障害予防規則

1,2-Dichloroethane

有機溶剤中毒予防規則:

労働安全衛生法：製造禁止有害物

該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
：特定化学物質

該当せず

PRTR対象物質1種:

1,2-Dichloroethane (157 >=1 %)
Phenol (349 >=1 %)

PRTR対象物質2種

該当せず

廃棄物の処理および清掃に関する法律:

特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

SDS改訂日 12/03/2020

ここに含まれる情報および推奨事項は、正確であると考えられたデータに基づいています。しかし、いかなる種類の保証または保証は、明示または黙示、ここに含まれている情報に関して行われません。当社は一切責任を負いません。当社製品への曝露によって引き起こされることがある任意の有害な影響のためにすべての責任を負いかねます。この製品の顧客/ユーザーは、該当するすべての健康と安全に関する法律、規制、命令に従わなければなりません。

セクション3に記載のフレーズに関する全情報は：

H225 可燃性の高い液体および蒸気

H301 飲み込むと有毒

H302 飲み込むと有害

H311 皮膚に接触すると有毒

H314 重篤な皮膚の薬傷・目の損傷

H315 皮膚刺激

H319 強い目刺激

H331 吸入すると有毒

H335 呼吸刺激の恐れ

H336 R67 - 蒸気により眠気またはめまいの恐れ。

H341 遺伝性疾患の恐れが疑い

H350 発ガンの恐れ

H373 長期/反復暴露により、臓器障害の恐れあり

巻末